

教育

この原稿を書いている4月10日時点で兵庫県には緊急事態宣言が発令されており、ほとんどの高等学校が休校を余儀なくされ受験生の皆さんは不安な思いをされていることでしょう。このような状況を受けて予備校では、学びの機会を継続して提供するために、急ぎよライブ授業を映像授業に切り替えるなどできる限りの対応に努めています。

さて、自宅にいる時間が長くなっている中、受験生・高校生の皆さんに最も意識していただきたいことは生活リズムの確立です。学校・予備校がある日と同じ時間に起床し、1時間目の授業開始時間に合わせて学習をスタートさせましょう。学校・予備校の時間割を参考にすると、各科目のバランスが取れた計画が立てやすいと思います。

また、自由に使える時間が多い

受験生の皆さんが今年最も不安に感じているのは、新しく導入される「大学入学共通テスト」でしょう。英語の民間資格・検定試験利用や数学・国語の記述式問題の導入が見送られ、不安が払拭されたように見えます。しかしながら、過去に実施された試行テストでは、各教科ともページ数が大幅に増加し、一方で設問数の減少がみられます。設問数減少は1問の配点の上昇を意味しますので、現行の大学入試センター試験よりもシビアなテストになる可能性があります。

来るべき「Society 5.0（人類史上5番目の新しい社会）」に備え、「変化する社会に

欠かせない「知識の増加」

基礎学力の強化意識して

予備校からの助言 1

ことを前向きに捉え、普段なかなか時間が取れない自学自習分野の学習をすることも有効です。英単語やイディオム（熟語）、漢字や古文単語などの学習を計画的に進め、学校・予備校が再開されたときに問題なく授業に参加できるように基礎体力を身に付けておきましょう。

高校1、2年の方は、この機会を利用して、気になっている大学や学部のことを調べておくのも良いことです。今後は18歳人口が減少し受験のチャンスも拡大します。将来を見据えた大学選びをするために情報を集めてください。もちろん息抜きやリフレッシュも大切です。適度な運動や気分転換

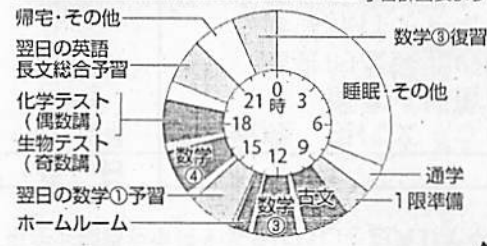
対応できる力」を備えた人材を育成することが今回の教育改革の原点であり、そのために思考力・判断力・表現力を測る試験になります。思考力・判断力・表現力の強化には、知識の増加が欠かせません。そのためにもこの時期は、前述した基礎体力の強化を意識してほしいと思います。

今後は京都大学・大阪大学・神戸大学の学習対策を中心に、受験生の志望動向などについてもお伝えします。皆さんが憧れのキャンパスに立つための情報を提供します。

(河合塾神戸三宮校校長 竹林 香織)

変わる大学入試

河合塾、学習計画表より



2021年の大学入学共通テスト導入など変革期を迎える大学入試。この寄稿連載では、受験生の不安解消に向けた予備校講師らの分析や助言を紹介していきます。

この困難下 自分の中に芽生えた新しい
学びの姿をはっきりさせてリズムの確立させよう。
悩みは言葉に。頑張れば新たに悩みも産まれる。
それを楽しもう。